

年度評価シート

課名 商業労政課

施設の名 南部勤労者福祉センター	指定管理者名 公益財団法人静岡市文化振興財団
1 履行状況	
(1) 目標達成 利用者満足度 目標値 88%、実数値 94.7% (前年度 98.4%)、達成率 107.6% (前年度比 96.2%)	
(2) 施設利用状況 利用者数 令和5年度 25,070人 (前年度21,893人) (前年度比114.5%) 【参考】令和元年度 (コロナ前) 実績値34,338人、▲27%	
(3) 人員配置状況 仕様書に基づき適切な人員配置がなされている。 専任職員 正規職員1名、パート6名	
(4) 事業実施状況 静岡市勤労者福祉センター条例第18条の規定に基づき、条例第22条各号に掲げる南部勤労者福祉センターの管理について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。 ア パソコン講座 13コース、33講座、203回 (406時間) ワード・エクセル入門等の講座を実施した。 イ フィットネス講座 8コース、32講座、319回 (319時間) フィットネス講座はヨガなどの人気が高く、申込の当落によらず安定的、継続的に参加できる事業の要望があったため、ヨガサークルの結成を施設で支援。サークルで取り扱う内容もヨガに留まらず、広く健康増進に努めるものとなった。 ウ トレーニングインストラクター指導事業 154回 (308時間) 曜日毎にジャズダンス、ヨガ、エアロビクス等の講座を実施した。	

エ その他事業（広報事業除く）

78回

- ・パンチキックエクササイズ（51回）
- ・初心者対象パソコン相談室（24回）
- ・来・て・こトークシリーズ③TVODのサブカルチャー講座 Vol.1（1回）
- ・来・て・こトークシリーズ④TVODのサブカルチャー講座 Vol.2（1回）

【検証・分析等】

来・て・こトークシリーズにおける講話の実施にあたり、今年度は不安定な現代社会の中で、文化・社会について参加者自らが考えていくための補助ができる講師を選定。独自性のある事業となり好評であった。

【確認結果】

○：協定書等の内容が適正に履行されている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応等）

【具体的な意見・要望の内容と対応状況】

意見等：フィットネス利用者のスマホ利用が気になる。ルール違反ではないのか。

対応：一般的な利用については問題ないが、撮影は禁止している。禁止事項がわかりやすいように掲示を行い、目立つようにした。

【検証・分析等】

苦情があったその日のうちに迅速に対応を行い、その後長期的な視座でも改善可能なことがないか、検討を重ねている。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

利用者満足度調査

利用者満足度

「満足」「やや満足」等と回答した人数 250人（回答者数 264人、94.7%）

利用者の施設サービス満足度は高い。

○：調査の結果が概ね良好である。

【検証・分析等】

利用者の満足度は高い。

南部勤労者福祉センター単体の認知度や、勤労者福祉としての施設の認知度に関する調査は未実施となっている。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況については、適正に執行されている。

【検証・分析等】

収入状況はコロナ禍5割程度まで落ち込んだが、フィットネス利用者、貸館利用者ともに増加傾向にあり、それに伴い現在は2/3程度まで回復している。対して支出は毎年度同水準となっている。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総合的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

安定した管理運営が行えており、講座の実施にあたっては毎年度テーマに沿って内容を検討しており、利用者からの満足度も高い。サークル結成の支援など、柔軟な対応もできている。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。